

奈良・平安時代からつづく祈りの道…

さがみこうのまち

相模国府祭六社めぐり

◆神奈川県指定無形民俗文化財◆

さがみこうのまち

相模国府祭とは

毎年5月5日、相模国一之宮寒川神社・二之宮川勾神社・三之宮比々多神社・四之宮前鳥神社・平塚八幡宮・総社六所神社が大磯の斎場に集まり、国家安泰・五穀豊饒、諸産業の繁栄を祈念する相模国最大の祭典が国府祭です。

◆ご由緒◆

大化改新(645年)以後、地方には国々が再編成され、新たに赴任した国司は、任国に着くと先ず最初に巡拝と称してその国の有力大社を参拝して回る制度がありました。しかし時代がたつにつれて、国司の巡拝は大変な日数と費用、人員を要するため、やがて巡拝する神社の御分霊を国府近くの神社に合わせ祀るならわしが起こり、これが総社の起源となります。そして国司は巡拝をやめて総社に神拝し、国内安泰の祈願所としました。そこで国司は総社に御分霊を納めていただくために、各神社に神輿を以て国府に集まるようお願いしました。これが国府祭のはじまりともされています。



▲古式座問答
相模国の成立を物語る「座問答」一之宮争いを儀式化した神事。



祭典当日《5月5日》

- 午前9時30分 総社御大祭
- 午前11時 神揃山祭
- 正午 古式座問答
- 午後 大矢場祭典
- 午後3時40分 神対面の儀
- 午後3時50分 国司奉幣の儀 裁許の儀



神輿渡御(神揃山)



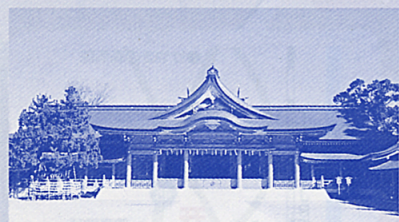
▲鷺の舞
大矢場斎場にて舞われる「鷺の舞」。鷺・龍・獅子の三種よりなる。



神輿渡御(大矢場斎場)

お問い合わせ
相模国府祭類社会
 ☎0463(71)3737
 〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷935
 六所神社々務所内

一之宮 さむかわ 寒川神社

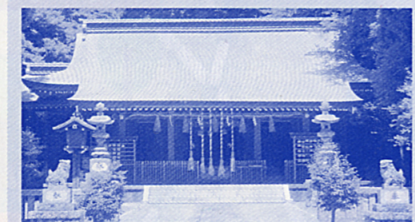


■延喜式内社 名神大社
 〈由緒〉
 相模国を始め、関八州方除総鎮護の神として古くから信仰を集め、約1500年前、雄略天皇の御代には奉幣のことが記されています。また醍醐天皇の御代に制定された延喜式では相模国唯一の名神大社に列せられ、今日では地相・家相・方位・日柄等に由来する全ての災いを祓い、除く八方除の守護神として全国より広く信仰されています。

〈みどころ〉
 銅板葺き、総木曾檜造りの御本殿他、幣殿・拝殿・翼殿・回廊・神門・手水舎は、御大典を奉祝し平成の御代を迎えて鮮やかに蘇ったもの。その後方に広がる神嶽山は寒川神社の信仰の源「難波の小池」と優麗な日本庭園を抱く神域であり方徳資料館を併設、ご祈禱をお受けの皆様にはその濃みない佇まいを心ゆくまでご堪能頂いております。

交通 JR相模線宮山駅 下車5分。
 住所 神奈川県高座郡寒川町宮山3916番地
 電話 ☎0467(75)0004
<http://www.samukawa-jinja.or.jp>

二之宮 かわわ 川勾神社



■延喜式内社
 〈由緒〉
 第11代垂仁天皇の時代、磯長国造・阿屋業造が勅命を奉じ、磯長国鎮護の為創祀。日本武尊が東征途中奉幣祈願あらせられ、允恭天皇皇妃の安産祈願を始め、建久3年源頼朝神馬を奉納し、神地塩田を寄せられる。小田原北条氏より鬼門守護社として崇敬深く、神馬免田造営奉幣の寄進あり。徳川の朝に至り神地50石を寄せられ累代將軍に及ぶ。明治6年郷社に列せられております。

〈みどころ〉
 当神社は、四方を森に囲まれた大自然豊饒な所です。鳥居を上がると、茅葺屋根の門に県内最古(平安末期)の随神の神様がいらっしゃいます。夫婦杉を通ると子宝・縁結びの願いが叶うと言われています。初代総理大臣伊藤博文直筆の鳥居額が保存されています。快晴の日には御本殿に青空広がる抜群な風景がごらん頂けます。

交通 JR二宮駅より神奈中バス国府津行き「押切坂上」下車10分。
 住所 神奈川県中郡二宮町山西2122
 電話 ☎0463(71)0709

三之宮 ひびた 比々多神社

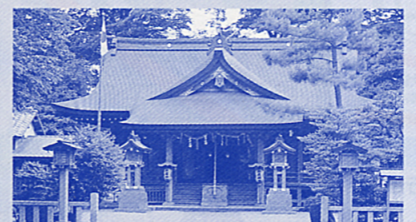


■延喜式内社
 〈由緒〉
 神武天皇6年、国土創造の神をお祀りして国土安泰を祈ったのが創祀とされています。第53代淳和天皇より当国総社冠大明神の神号を賜り、延喜の制では式内社に列格。源頼朝公は安産祈願に神馬を奉納、徳川歴代將軍より神領の寄進がなされ、事始めの神様の信仰を集めています。大祭は勇壮な神輿、人形山車、植木市等で賑わいます。

〈みどころ〉
 神社周辺は昭和初期に360基の古墳が存在し、古代文化発祥の地と考えられます。郷土博物館には2千点に及ぶ遺物が収蔵され、馬具・裝飾大刀・玉類・関東最古の狛犬等、多くが市重文指定となっています。うずらみか(県重文)は石凝姥命作と言われ、酒祭では沢山(三段の滝)から汲んだ御神水をお供えして新酒醸造安全を祈ります。

交通 小田急線伊勢原駅よりバス15分 鶴巻温泉駅よりバス10分
 住所 神奈川県伊勢原市三ノ宮1472
 電話 ☎0463(95)3237
<http://www.hibita.jp>

四之宮 さきどり 前鳥神社

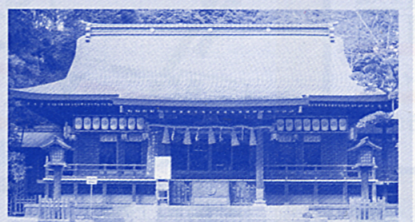


■延喜式内社
 〈由緒〉
 延喜年間に編纂された「延喜式」神名帳に登載された延喜式内社で、1640余年の歴史を有します。ご祭神の前鳥大神は、古くより修学の神、学問の神として広く尊崇されています。また、渡来人技術者を篤く庇護し、農業、土木建設等の急速な発展をなされましたご祭神は、産業技術発展の神としても崇敬を集めております。

〈みどころ〉
 平塚八景に指定される鬱蒼とした鎮守の社には、学問の宮らしく多くの句碑や歌碑が点在しています。ご社殿前の松は「幸せの松」と呼ばれ、稀に4本の葉をつけ、身に付けば幸せを運ぶと言われています。境内要学神社には、願いが叶えられた祈願だるまが受験生たちによって納められ、シーズンには数多く並んだ姿を見ることが出来ます。

交通 JR東海東線平塚駅北口よりバス6番「前鳥神社前」下車3分
 住所 神奈川県平塚市四之宮4-14-26
 電話 ☎0463(55)1195
<http://www.sakitori.jp>

八幡宮 ひらつかはちまんぐう 平塚八幡宮

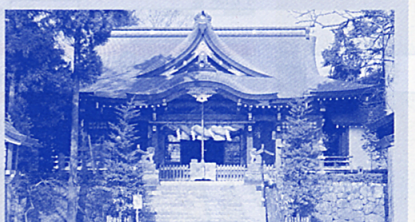


■相模国一國一社八幡宮
 〈由緒〉
 平塚八幡宮は今から1600年以上前、仁徳天皇の六十八年、この地に大地震があり、それを見かねた仁徳天皇が詔をだされ、応神天皇をお祀りされたことが創祀でございます。その後、推古天皇の御代にも大地震があり鎮地大神の御宸筆を賜り、相模の鎮めとして、相模國一國一社の八幡宮として崇敬を集めております。

〈みどころ〉
 平塚八幡宮は平塚中心市街地と官庁街を結ぶ、旧平塚市では最も標高の高い八幡山に鎮座し、駅周辺の市街地に隣接しながらも地域の潜在な自然をもつ「鎮守の杜」として、氏子・崇敬者をはじめご参拝になる皆さまの「心の杜」として親しまれています。江戸時代に街道が整備されると平塚八幡宮の門前は大門通とよばれ、東海道、大井道、厚木街道、須賀港からの道が交わる交通の要として街をなし、平塚商業発祥の地といわれています。

交通 JR平塚駅北口より徒歩5分
 住所 神奈川県平塚市浅間町1-6
 電話 ☎0463(23)3315
<http://www.hachimangu.org>

総社 ろくしょ 六所神社



■相模国総社
 〈由緒〉
 崇神天皇の御代、備前田姫命を守護神とし創建され、当時は「柳田大神」と称しました。大化改新後、国府鎮座の総社として、一之宮寒川神社から平塚八幡宮の分霊を合祀し「相模国総社六所神社」となりました。鎌倉時代には、源頼朝公による富士川の合戦の戦勝祈願を始め、奥方の北条政子の安産祈願がなされ、戦国時代には、小田原北条家より六十五貫の社領が寄進されております。

〈みどころ〉
 鳥居から神社に向かう途中の大榎(けやき)は樹回り5mで樹齡数百年と推定されます。境内に進むと両側に一對の池があり、御祭神備前田姫さまの御姿映し(鏡)の池と伝えられます。御社殿を支えている石垣は、小田原北条家造営(戦国時代)と伝えられ、関東大震災にも揺るがず御社殿を守りました。本殿は同じく北条家(戦国時代)造営で五間社(9m)という大規模なものです。

交通 JR二宮駅より神奈中バス平塚駅行き「国府新宿」下車3分。
 住所 神奈川県中郡大磯町国府本郷935
 電話 ☎0463(71)3737
<http://www.rokusho.jp>